



良元通信

令和8年(2026年)4月16日号

平素より本校の教育活動を温かく支えていただき、心より感謝申し上げます。新学期特有の緊張感の中にも、子どもたちの表情からは「新しい自分」に出会おうとする意欲が伝わってきます。一方で、知らず知らずのうちに疲れがたまる時期でもあります。ご家庭におかれましては、ぜひお子様の頑張りを認め、心休まる居場所として温かく見守っていただければ幸いです。

さて、こうした日々の生活に関連して、「スマートフォン利用と SNS の安全」についても共有させていただきます。これらは便利な道具ですが、ときにはトラブルや健康への影響を招くこともあります。学校でも指導してまいります。プライベートな空間での利用が多いからこそ、ご家庭でのさりげない見守りがお子様の安心につながります。友人とのやり取りや趣味にスマートフォンを楽しむ姿は、今や日常の光景となりました。しかし、何気なく投稿した写真や言葉がきっかけで、思わぬ事態に発展するケースも身近に潜んでいます。スマートフォンは日々の生活を豊かにしてくれますが、正しく使いこなすには十分な知識と注意が必要です。これからも安全に楽しく活用していくために、以下のポイントをヒントにご家族で共有し、話し合ってください。

1 「写真や動画」を撮るときのマナー

- (1)勝手に撮らない・載せない: 友達の顔が映った写真や動画を、本人の許可なく SNS にアップするのはマナー違反です。時には「肖像権」という法律の問題になることもあります。
- (2)背景に注意: 自宅の近く、住所表示、学校の校舎、名札などが映り込むと、「どこに住んでいる誰か」が世界中に特定されてしまいます。

2 SNS での「やり取り」のリスク

- (1)一度出したら消せない: 冗談のつもりで投稿した乱暴な言葉や、恥ずかしい写真は、一生ネット上に残る(デジタルタトゥー)可能性があります。将来の進学や就職に影響することもあります。
- (2)「見知らぬ人」は全員警戒: SNS で優しく話しかけてくる人は、偽物の名前や写真を使っているかもしれません。「会おう」という言葉には絶対に応じないでください。

3 「簡単にお金がもらえる」という誘いは、実は犯罪です

- (1)SNS で「スマホで写真を撮るだけでお小遣い」といった、怪しい誘いが増えています。
- (2)これは、子どもを犯罪の仲間(泥棒など)に引き込むためのワナです。
- (3)一度関わってしまうと、自分や家族が怖い目に遭わされたり、これまでの生活ができなくなって一生を台無しにしたりすることもあります。

保護者の皆様をお願いしたいこと

- ①「家庭のルール」: 「夜〇時まで」「リビングで使う」など、使いすぎを防ぐ約束を作ってください。
- ②フィルタリング(制限機能)の活用: お子様を有害なサイトやアプリから守る設定をしてください。
- ③相談しやすい雰囲気作り: もし変なメッセージが届いたり、失敗してしまったりした時、「怒られるから隠そう」ではなく「家族にすぐ相談しよう」と思える関係を日頃から大切にしてください。

校長 南 理香